

### 製品含有化学物質調査設備

製品に含有する有害化学物質の全廃を検証するために分析装置を導入しています。

#### 蛍光X線分析装置

EU RoHS指令の指定6物質をはじめとする有害化学物質を製品から全廃の維持すべく、その含有調査を迅速に実施するために蛍光X線分析装置、蛍光X線分析顕微鏡、携帯型蛍光X線分析計、六価クロム分析装置を導入（2005年10月～2007年2月）さらに、蛍光X線分析顕微鏡の増設（2007年11月）し、自社分析の強化を図っております。



蛍光X線分析装置



蛍光X線分析顕微鏡(2007年11月増設)



携帯型蛍光X線分析計



六価クロム分析装置

### 主なリサイクル設備

資源の有効利用を進めるために廃棄物のリサイクルを推進しています。

#### 生ごみのリサイクル

本社/石川開発センター、ProDeSセンターの社員食堂から出た生ごみは、肥料化して、これで育てた有機野菜をもう一度、社員食堂の食材に利用しています。また、社員食堂では、無洗米を採用することでお米のとぎ汁を排出しないようにしています。





## 主な循環型エネルギー設備

廃棄物の有効利用のために循環型エネルギー設備を導入しています。

### バイオディーゼル燃料製造装置

本社 / 石川開発センター、ProDeSセンターの社員食堂から発生する廃食油からバイオディーゼル燃料(BDF)が精製できる小型バイオディーゼル燃料製造装置を導入しています。これにより、社有車のトラック燃料として再利用を行うことで、廃棄物の有効利用を促進しています。

#### < 装置概要 >

- ・ 生成容量：30～50L / 回
- ・ 処理時間：8～10時間
- ・ 外形寸法：W900×L850×H1630
- ・ 装置重量：約250kg



#### < 導入効果 >

項目	削減量	備考
廃棄物処理委託費削減(廃食油)	3.6KL / 年	
燃料費削減(軽油)	3.4KL / 年	トラック燃料



## 主な省エネルギー設備

エネルギーの効率化のために省エネルギー設備を導入しています。

### 自動力率調整機

本社 / 石川開発センター、ProDeSセンターでは、電力の力率管理を自動で行い最適な力率にする自動力率調整機や、空調用送風機を常に最適な条件で運転する高効率化装置を導入して、エネルギー使用の効率化を行っています。





## 地球温暖化対策の取組み：電力モニタリングシステムの導入

地球温暖化対策の取組みとして、消費電力量がモニタできるシステムを導入しています。

### 電力モニタリングシステム

ProDeSセンターの事務所における消費電力量がモニタ（見える化）できる「電力モニタリングシステム」を導入しました。本システムを活用することで省エネルギー活動などに利用できます。

#### <システム概要>

- ・消費電力量のWEBによるグラフ表示
- ・消費電力量のCO2排出換算
- ・消費電力量の比較（過去の実績データなど）

#### <導入効果>

- ・環境負荷情報の社内開示
- ・省エネルギー活動の情報活用



## 地球温暖化対策の取組み：高効率反射板（MCPET）

地球温暖化対策の取組みとして、省エネルギー削減のための照明対策を実施しています。

### 高効率反射板（MCPET）

ProDeSセンターの事務所における省エネルギー削減の取組みとして「高効率反射板（蛍光灯の照度アップ）」を導入しました。本対策により、照明の間引き／消灯による照明および空調電力の省エネルギー削減が実現できました。



高効率反射板